

デジタル化の推進

★DX 協創プラットフォーム形成事業

(404万9千円)

デジタル技術を活用した地域課題の解決やデジタル人材の育成を図るため、山口東京理科大学、関係団体および市で構成するプラットフォームを形成し、デジタルに関する勉強会等を開催していきます。勉強会等において地域課題等の解決案を出し合い、その中から有望なものを抽出し、「市のデジタル化」への取組の一環として、予算化・事業化につなげていきます。

★キャッシュレス決済導入事業(556万8千円)

市民課の窓口で支払う住民票等の証明発行手数料について、クレジットカードや電子マネー等に対応したキャッシュレスレジを導入し、市民の利便性の向上を図ります。



山口東京理科大学との連携

☆山口東京理科大学との連携によるフォーラムの開催事業(50万円)

山口東京理科大学の薬学部、市・医師会・薬剤師会が連携し、地域の活性化と健康ご長寿社会の実現に向けた機運の醸成を図ることを目的とした、フォーラムを開催します。



☆スマイルサイエンス事業(44万6千円)

義務教育段階から科学に対する興味、関心を喚起し、科学体験に重点を置いた理数教育の充実を図ります。山口東京理科大学との教育連携協定に基づく取組の一つとして、大学キャンパスを会場とし科学体験・科学作品展を開催します。



スマイルエイジングの推進

☆スマイルエイジングパーク事業(950万円)

市民の運動習慣のきっかけづくりのための環境整備を行います。令和4年度は、糸根公園と青年の家をスマイルエイジングパークとして一体的に整備するための基本計画の策定業務を行います。



★スマイルエイジング 薬局事業(74万5千円)

スマイルエイジングに向けた活動を展開する薬局を「スマイルエイジング薬局」に認定し、市民の健康づくりをサポートする健康拠点の体制づくりを行い、市民の健康寿命の延伸を図ります。また、市薬剤師会、山口東京理科大学、行政の産官学連携により推進体制を強化するとともに、他関係団体とも協働して実施できるよう取り組みます。

★子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種事業(5,100万2千円)

子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が令和4年4月から再開されることに伴い、公平な接種機会を確保する観点から時限的に従来の定期接種の対象年齢を超えた人に対し、キャッチアップ接種を行います。

その他の主要事業

★がん患者医療用補整具購入費助成事業

(19万1千円)

がん患者の心理的・経済的負担の軽減を図るため、がん治療に伴う脱毛や乳房切除等によりウィッグや補整下着等を購入する費用の一部を助成します。

★プラネタリウム投映事業(74万円)

青年の家天文館は、機械・建物の老朽化および糸根地区公園のリニューアル計画のため、プラネタリウム事業を令和4年度末で終了し、閉館します。そのため、最後のプラネタリウム鑑賞機会として一般投映会を開催します。また、閉館後の記録資料として活用するため、プラネタリウム投映の様子を映像で記録します。

